

急傾斜地でエスロハイパーの施工性を生かした配管が実施されています
丘陵部に建設された配水池の送、配水管の布設替え工事などでエスロハイパーの特長である
軽量であること 接合部が抜けにくいこと 柔軟性があること
を生かした施工が、全国で実施されています。



配水池までの配管経路は、傾斜30°を超え重機等の進入は困難。人力で小運搬できる軽量なエスロハイパーが有効です。



布設場所で接合作業が困難な場合は、平坦な場所で融着接合をした後、運び込みます。



接合した長尺管をウインチで引き上げ、布設場所へ。柔軟性を生かして、木々をかわして行きます。



配管に使用したウインチ。小型のもので十分対応できます。



埋め戻し作業において、重機が入れず手掘り、浅埋で対応した現場でも、融着により一体化。抜ける心配がありません。



開削が困難な現場には、被覆付のエスロハイパーが有効です。作業状況に合わせて、使い分けてください。

**急傾斜地での布設替えを計画の際は是非、
エスロハイパーをご検討ください！**